

SPECIAL EXHIBITION | SUPREME TREASURES

日本が誇る  
サムライの美  
鎧を世界へ  
発信!

# Japanese Gorgeous Armors

The Elegance of the

# SAMURAI

July 5 - September 7, 2025  
Nara Kasugataisha Museum



春日大社  
国宝 赤糸威大鎧(竹虎雀飾)

史上初! 天下に名だたる大鎧の双璧を並列展示  
現存する国宝鎧の半数が奈良・春日大社に集結!



青森県 榊引八幡宮  
国宝 赤糸威鎧(菊一文字の鎧兜)

## 究極の国宝 大鎧展

— 日本の工芸技術の粋を集めた甲冑の美の世界 —

令和7年 7月5日(土) ~ 9月7日(日) ※8月4日(月)~8日(金)は前後期展示替えのため休館

開館時間 10時~17時(16時30分受付終了)

拝観料 一般 ¥1,500 大高生 ¥1,200 中小生 ¥500

後援 NHK奈良放送局 奈良市 奈良市教育委員会 (一財)奈良県ビジターズビューロー

春日大社 国宝殿 Kasugataisha Museum

〒630-8212 奈良市春日野町160 Tel. 0742-22-7788 / Fax. 0742-27-2114

アクセス

JR・近鉄奈良駅より春日大社本殿行きバス7~10分、下車すぐ

# 究極の国宝 大鎧展

—日本の工芸技術の粋を集めた甲冑の美の世界—

## Japanese Gorgeous Armors The Elegance of the SAMURAI

日本の甲冑は大鎧、胴丸、腹巻、当世具足などの様式がありますが、これらは金工、漆工、染織など複数の分野にまたがる工芸作品の集合体で、日本人の工芸技術の高さ、そして美意識をあらわした総合芸術といえます。

いくつかの種類がある甲冑のなかでも、主に平安時代後期から南北朝時代にかけて作られた大鎧は最も格式が高く、上級武將の料として用いられることから「式正の鎧」ともいわれています。春日大社には日本を代表する甲冑として知られている鎌倉時代に作られた国宝・赤糸威大鎧(梅鶯飾)と国宝・赤糸威大鎧(竹虎雀飾)があり、この二領の大鎧には金工技術の粋を極めた絢爛豪華な飾金物が施されています。

『春日権現験記』などの平安時代から鎌倉時代に描かれた絵画史料や軍記物語には、飾金物が施された大鎧が登場しますので、当時はこのような大鎧は多く作られたと思われるのですが、現存する南北朝時代以前の飾金物が施された大鎧は、平安時代唯一の作例である鹿児島市に鎮座する鶴嶺神社の重文・赤糸威鎧、鎌倉時代に作られた春日大社の二領の大鎧、そして鎌倉時代の青森県八戸市に鎮座する柳引八幡宮の国宝・赤糸威鎧(菊一文字の鎧兜)のみとなっています。

本展覧会では、天下に名だたる大鎧の双璧として知られている柳引八幡宮の赤糸威鎧(菊一文字の鎧兜)と春日大社の赤糸威大鎧(竹虎雀飾)が史上初めて並列展示されるとともに、現存する国宝の甲冑・鎧類の半数が一堂に集まります。



国宝 赤糸威大鎧(梅鶯飾) 鎌倉時代  
春日大社所蔵



国宝 赤糸威鎧(兜、大袖付) 平安時代  
岡山県立博物館所蔵



国宝 籠手 鎌倉時代  
春日大社所蔵



国宝 黒韋威矢筈札胴丸 南北朝時代  
春日大社所蔵



国宝 黒韋威胴丸 室町時代  
春日大社所蔵

※展覧会情報は令和7年1月現在です。  
展示内容は今後変更する場合がありますので、  
確定次第、ウェブサイト・SNSなどでお知らせします。